

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

松崎町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県賀茂郡松崎町

3 地域再生計画の区域

静岡県賀茂郡松崎町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の総人口は、1980年の10,013人をピークに一貫して減少しており、住民基本台帳によると2021年には6,035人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045年に3,820人まで減少することが想定されている。

年齢3区分別人口では、年少人口（0～14歳）は、1980年の2,024人から2021年には396人となっており、同研究所の推計によると2045年に305人と大きく減少する見込みである。また、生産年齢人口（15歳～64歳）は、1980年の6,446人から2021年には2,641人となっており、2045年に1,592人と大きく減少する見込みである。一方、老年人口（65歳以上）は、1980年の1,543人から2021年には2,998人と大幅に増加しており、2045年に1,923人と再び減少する見込みである。それぞれの区分の構成比の推移をみると、年少人口は1980年の20.2%から2045年に8.0%へ減少し、生産年齢人口は1980年の64.4%から2045年に41.7%へ減少し、老年人口は1980年の15.4%から2045年に50.3%へ増加する。

自然動態をみると、1995年から一貫して死亡数が出生数を上回っている。近年、その差が拡大する傾向にあり、2010年代からは毎年ほぼ100人以上の自然減が続いている。2021年には、出生者数14人、死亡者数142人で、自然減（▲128人）となっている。

社会増減をみると、本町の基幹産業である観光産業の衰退に伴い、雇用の機会が減少した影響により、概ね減少傾向にあるが、2008年と2010年はいずれも転

入者数が転出者数を上回り、社会増（いずれも1人）となっている。2021年には、転入者数140人、転出者数185人で、社会減（▲45人）となっている。

このまま推移すると、2050年代には、2015年（6,837人）を100としてみた場合に、50を切ることになり、「半減」ということになる。特に、年少人口の減少の割合が高く、老年人口の減少の割合が低いため、全体として人口減少が進む中で少子化・高齢化が一段と進むことが想定される。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域経済の衰退、子育て教育環境の衰退等、様々な影響が懸念される。

こうした状況に対して、人口減少を抑制し、将来人口を想定値よりも上回る水準にしていくため、次の事項を基本目標に掲げ、「伝統と現代が調和した暮らしのあるまち 松崎」の実現をめざす。

- ・基本目標1 地域経済を強くする循環
- ・基本目標2 人が活躍し、人を呼びこむ循環
- ・基本目標3 子どもを育て、教育する循環
- ・基本目標4 健康で安心して暮らす循環

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	棚田の観光客数（単年度）	7人	1,300人	基本目標1
	技術伝承実施箇所（単年度）	2箇所	2箇所	
	教育旅行人数（単年度）	260人	670人	
	スポーツ体験型観光人数 （単年度）	11,529人	15,400人	
	文化財（重文・旧依田邸） 入込客数（単年度）	10,596人	23,400人	

	大型クルーズ船の寄港回数（単年度）	0回	1回	
	松崎ブランド認定商品数	33種類	43種類	
	新技術活用などの支援件数	1件	1件	
	農地集積化・集約化面積	0ha	3.0ha	
	農地付き空き家取得者数（単年度）	0人	1人	
	有害鳥獣捕獲頭数（単年度）	270頭	330頭	
	起業者数（単年度）	3人	3人	
	町ホームページの閲覧件数（単年度）	347,099件	350,000件	
	直売所整備	0箇所	1箇所	
イ	石部棚田を活用した体験等の参加者数（単年度）	1,137人	1,600人	基本目標2
	事業により松崎町を訪れる学生（単年度）	284人	320人	
	新規返礼品登録数（単年度）	46種類	50種類	
	ふるさと納税寄付件数（単年度）	3,043件	3,800件	
	他の地域の自治体との交流回数（単年度）	1回	9回	
	ウォーキングイベント参加人数（単年度）	142人	170人	
	女性委員登用割合	19.5%	20%以上	
	女性の就業比率	43.5%	50%以上	
	障がい者活動回数（単年	3回	10回	

	度)			
	65歳以上の就労人口	720人	720人	
	シルバー人材センター会員数（単年度）	44人	50人	
	地域おこし協力隊登録人数（単年度）	6人	6人	
	空き家情報バンクへの新規登録（単年度）	16件	20件	
ウ	妊娠・出産サポート等支援実施回数（単年度）	5回	6回	基本目標3
	子育て支援支給事業実施人数（単年度）	23人	29人	
	延長保育支援人数（単年度）	23人	25人	
	子どもの居場所数（単年度）	1箇所	1箇所	
	奨学金利用者（単年度）	2人	5人	
	I C T支援者の配置	0人	1人以上	
	後継者育成人数	0人	1人	
エ	地域での健康増進活動参加者数（単年度）	204人	650人	基本目標4
	地域での健康増進活動場所数（単年度）	14箇所	35箇所	
	特定健診受診率	27.7%	60%	
	診療所の整備	0箇所	1箇所	
	買い物等支援利用者数（単年度）	2,841人	3,000人	
	備蓄食料率	70%	80%	
	避難所耐震化（単年度）	1件	1件	

	ハザードマップ整備済数	1種類	3種類	
	地域リーダー講習会・研修会実施回数（単年度）	1回	1回	
	防災訓練等実施回数（単年度）	3回	5回	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

松崎町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 地域経済を強くする循環事業
- イ 人が活躍し、人を呼びこむ循環事業
- ウ 子どもを育て、教育する循環事業
- エ 健康で安心して暮らす循環事業

② 事業の内容

ア 地域経済を強くする循環事業

風光明媚な地域や温泉、桜葉等地域外に販売できる特産品を新しい社会に合致した方法で発信し、地域経済循環を強化することにつなげる事業

【具体的な事業】

- ・ 棚田の保全と活用
- ・ 特産品、農産物の高付加価値化と販売促進
- ・ ICT活用による戦略的情報発信 等

イ 人が活躍し、人を呼びこむ循環事業

特定の地域に継続的に多様な形で関わりを持つ人を意味する「関係人

口」を増やし、将来的に交流人口、定住人口を増やすことにつなげる事業

【具体的な事業】

- ・ 大学等連携事業
- ・ 交流のある他の地域の自治体との交流
- ・ 自然景観や温泉を活用した健康保養 等

ウ 子どもを育て、教育する循環事業

主幹産業である観光業の特性に応じた子育て支援環境を整え、都会では実現することのできない子どもの居場所や遊び場所を提供する等、ユニークな子育て支援環境の創出を進める事業

【具体的な事業】

- ・ 子育て支援の充実
- ・ 就学支援の充実
- ・ 学力、運動能力の向上支援の充実 等

エ 健康で安心して暮らす循環事業

少子・高齢化が進む中で、健康長寿のウェルネスの考え方による高齢社会のコミュニティ形成を進める事業

【具体的な事業】

- ・ 健康増進に関連する活動支援
- ・ 買い物等支援の充実
- ・ 地域公共交通の充実 等

※ なお、詳細は第2期松崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

240,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで